

あいおいニッセイ同和損保と香川大学による MaaS に関する特別共同研究の実施について

2019年8月5日

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三、以下「あいおいニッセイ同和損保」）と国立大学法人香川大学（学長 寛 善行、以下「香川大学」）は、2019年3月に締結した連携協定に基づき、MaaS（Mobility as a service）に関する特別共同研究（※）を2019年8月より開始します。

（※）香川大学イノベーションデザイン研究所における学際的共同研究

1. 背景

「日本版 MaaS」構想が提起される中、国内各地域では、地域特性に応じた MaaS の取組みが進められています。本年4月より、経済産業省・国土交通省では、新しいモビリティサービスの社会実装に挑戦する地域等を応援する新プロジェクト「スマートモビリティチャレンジ」を開始するなど、今後も MaaS の取組みを通じて地域課題を解決する機運が高まっていくことが期待されます。あいおいニッセイ同和損保と香川大学は、MaaS を活用した地域課題の解決を進めるべく、MaaS に関する特別共同研究を実施することとしました。

2. 特別共同研究の概要

あいおいニッセイ同和損保と香川大学は、地元と連携しながらMaaS構築・展開および保険のあり方についての特別共同研究を行います。

- （1）香川大学は、同大学の防災および医療などの知見を活かしながら、MaaS構築・展開の研究およびそれらの過程で生じ得る課題解決について研究を行います。
- （2）あいおいニッセイ同和損保は、上記研究を踏まえ、香川大学と協働しながら、「MaaSに伴う保険のあり方」について検討を行います。

〈参考〉 香川大学とあいおいニッセイ同和損保との連携・協力に関する協定（2019年3月）

相互の連携を通じて、地域の発展に寄与することを目標に、香川大学の研究活動による専門知識と、あいおいニッセイ同和損保が事業展開してきた経営資源を基に地域活性化に関する研究交流、人材交流、人材育成、技術開発交流などのうち相互の協力が可能な分野において、具体的な協力を有機的に推進していくことを目的とする、連携・協力に関する協定。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



主に貢献しているSDGs目標

